

技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	① 技術と私たちの生活 ② 技術分野の学習	知 技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。	環境学習との関連
5	A 材料と加工の技術 <20時間> 製作のための技能(金属) 身の回りの製品の設計	製作のための技能(金属) 技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。 材料の特徴と利用方法を知る。 使用目的に即した製品の設計ができる。	製作のための技能(金属) ① ものづくりの進め方 ② 様々な材料の特徴、材料と環境 ③ 設計の進め方 ④ 製品の目的と機能、構造 ⑤ 材料と加工法 ⑥ 構想のまとめと製図	知 技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。 技術の進展と環境との関係について関心を示している。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 思 製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。	図画工作5年生実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連
6	B 生物育成の技術 <8時間>	生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る	①生物育成とは ②作物や家畜などの特性と生物育成技術 ③生育の規則性と技術 ④土づくり、肥料 ⑤たねまき、育苗と植えつけ(定植) ⑥定植後の管理 ⑦収穫の方法と保存、収穫後の管理 ⑧栽培計画	知 光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。	(5年理科) 「植物の成長と日光や水とのかかわり」 「生物とのかんきょう」
7	1学期 ナスの栽培			主 目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	
8	2学期 キクの栽培			思 計画に基づき、適切な用具等を用いて合理的な管理作業ができる。	
9	A 材料と加工の技術 製作のための技能(金属) 身の回りの製品の製作	製作のための技能(金属)加工法と工具、機器の安全な利用ができる。 工程表にそって製品の製作ができる。 安全に作業が進められる。	⑦部品表と製作工程表、製作の準備 ⑧けがき ⑨切断 ⑩切削 ⑪部品の検査、組み立て ⑫接合、点検 ⑬仕上げ	主 環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。 常に正しい作業と作業効率を考え製作を進めている。 思 加工に関する課題を明確にしなが製作を進め、適切な解決策を見出している。 主 製作図を基に、材料取り、部品加工、組立、仕上げができる。 知 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。	
10					
11	A 材料と加工の技術 製作のための技能(金属) まとめ <1時間>	製作のための技能(金属)製作に関する評価・活用ができる。 製作の効率を考えることができる	⑭製作のまとめと材料の加工と私たちの生活	主 材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。 思 材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を見出している。	

12	D情報の技術 〈5時間〉	<p>コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。</p> <p>情報利用の基本的な仕組みを知る。</p> <p>著作権、情報発信の責任を知り、情報モラルを考慮することができる。</p> <p>コンピュータを使った情報の利用ができる。</p>	<p>①情報と私たちの生活</p> <p>②コンピュータの構成</p> <p>③情報を処理するしくみ</p> <p>④デジタル化と情報の量</p> <p>⑤情報を伝える仕組み</p> <p>⑥ネットワークの安全性と情報モラル</p> <p>⑦コンピュータの基本操作</p> <p>⑧デジタル作品の構想</p>	<p>知</p> <p>情報社会で適正に活動しようとしている。</p> <p>情報利用の新しい発想を活用しようとしている。</p>	<p>小学校総合的な学習の時間</p> <p>探究的な学習活動における学習課程</p> <p>「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連</p> <p>図画工作5、6年生の課題で利用する</p> <p>「デジタルカメラ、パソコン、プロジェクタ、スキャナ、画像処理ソフトウェア」などとの関連</p>
				<p>思</p> <p>情報に関する技術を利用して場面に応じて活動できる。</p> <p>デジタル作品の使用目的や使用条件に適したメディアやデジタル化の方法を選択できる。</p>	
				<p>主</p> <p>デジタル作品の設計や制作の計画ができる。</p> <p>適切な機器とソフトウェアを利用して情報の表現や発信ができる。</p>	
				<p>知</p> <p>情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響を理解している。</p> <p>コンピュータを構成する主な装置と基本的な情報処理の仕組みについての知識を身に付けている。</p> <p>著作権や発生する可能性のある問題と情報発信者の責任についての知識を身に付けている。</p> <p>適切なソフトウェアを利用する知識を身に付けている。</p>	

技術・家庭科 《第2学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連		
4	A 材料と加工の技術 <25時間>	<p>〈製作のための技能（木材・金属）〉技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。</p> <p>材料の特徴と利用方法を知る。</p> <p>使用目的に即した製品の設計ができる。</p>	<p>①ものづくりの進め方</p> <p>②様々な材料の特徴、材料と環境</p> <p>③設計の進め方</p> <p>④製品の目的と機能、構造</p> <p>⑤材料と加工法</p> <p>⑥構想のまとめと製図</p>	知	<p>技術と生活の関係に気づき技術に役割に関心を示している。</p> <p>技術の進展と環境との関係について関心を示している。</p> <p>新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p>	<p>図画工作5年生実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連</p>	
5	製作のための技能（木材・金属） 身の回りの製品の設計			思			<p>製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。</p>
6				主			<p>製作品の構想をまとめることができ、図に描き表すことができる。</p>
7				知			<p>木材・金属の材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。</p> <p>製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。</p> <p>製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。</p>
8	身の回りの製品の製作	<p>加工法と工具、機器の安全な利用ができる。</p> <p>工程表にそって製品の製作ができる。</p> <p>安全に作業が進められる。</p>	<p>⑦部品表と製作工程表、製作の準備</p> <p>⑧けがき</p> <p>⑨切断</p> <p>⑩切削</p> <p>⑪部品の検査、組み立て</p> <p>⑫接合、点検</p> <p>⑬仕上げ</p>	主	<p>環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。</p> <p>常に正しい作業と作業効率を考え製作を進めている。</p>		
9				思			<p>加工に関する課題を明確にしながら製作を進め、適切な解決策を見出している。</p>
				主			<p>製作図を基に、材料取り、部品加工、組立、仕上げができる。</p>
10	A 材料と加工の技術 製作のための技能（木材・金属） まとめ <2時間>	<p>製作のための技能（木材・金属）製作に関する評価・活用ができる。</p> <p>製作の効率を考慮することができる</p>	<p>⑭製作のまとめと材料の加工と私たちの生活</p>	主	<p>材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。</p>		
11				思			<p>材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を見出している。</p>

12	D情報に関する技術 〈8時間〉	<p>コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。</p> <p>計測・制御による問題の発見を行う。計測・制御と社会のつながりについて考えることができる。</p> <p>プログラムの構造とプログラミング言語について理解する。簡単なプログラムを作成することができる。</p> <p>メディアを利用した情報の表現ができる。</p> <p>情報の技術と私たちの未来について考えることができる。</p>	<p>①情報と私たちの生活</p> <p>②コンピュータの構成</p> <p>③情報を処理するしくみ</p> <p>④計測・制御による問題解決</p> <p>⑤プログラムの構造と表現、簡単なプログラムを作成</p> <p>⑥プログラムフローチャートの表現</p> <p>⑦文字静止画等を扱いコンピュータの操作</p> <p>⑧デジタル作品の構想</p> <p>⑨情報の技術と未来について</p>	<p>情報社会で適正に活動しようとしている。</p> <p>情報利用の新しい発想を活用しようとしている。</p>	<p>小学校総合的な学習の時間</p> <p>探究的な学習活動における学習課程</p> <p>「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連</p> <p>図画工作5、6年生の課題で利用する</p> <p>「デジタルカメラ、パソコン、プロジェクタ、スキャナ、画像処理ソフトウェア」などとの関連</p>	
				<p>知</p>		<p>情報に関する技術を利用して場面に応じて活動できる。</p> <p>計測・制御の使用目的や使用条件に適したメディアやデジタル化の方法を選択できる。</p>
				<p>主</p>		<p>プログラムの設計や制作の計画ができる。</p> <p>適切な機器とソフトウェアを利用して情報の表現や発信ができる。</p>
3				<p>知</p>		

技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態

	単元名	指導目標	指導内容		評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	①技術と私たちの生活や環境との関わり	知	技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。	環境学習との関連
5	B エネルギー変換の技術 <17時間> 実施時期は、通年で行う。	エネルギーの生活と社会に果たす役割を理解する。 エネルギー変換の仕組みと安全な利用方法を知る。 エネルギーの適切な活用について考える。 簡単な電気製品(ミニライト)の製作を行う。	①私たちの生活とエネルギー	知	エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適切な解決策を示そうとしている。	理科4年生 「電気の働き」との関連。 理科5年生 「電流の働き」との関連 理科6年生 「電気の利用」「燃焼の仕組み」との関連 小学校総合的な学習の時間 探究的な学習活動における学習課程 「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連
6			②エネルギー資源の種類			
7			③エネルギーの変換と利用	思	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、設計要素を検討し製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造などを決定している。	
9			④動力伝達のしくみ ⑤運動を変化させるしくみ			
10			⑥機器の保守点検と整備	主	機器の点検すべき個所を見付け、保守点検と事故防止ができる。 漏電、感電、加熱及び短絡による事故を防止できる。 設計に基づき安全を踏まえた製作品の組み立て調整ができる。	
11			⑦機器の安全な利用と事故防止			
12	⑧電気実験	思	機器の定期点検の必要性についての知識を身に付けている。 組み立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。 エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。			
1	⑨簡単な電気製品の製作を指導する					
2	B エネルギー変換の技術	タブレットを用いてパワーポイントでまとめる。	⑩エネルギー変換と社会とのかかわりについて、まとめる。			
3						